
第1日目 5月22日 (木)

シェラトン都ホテル大阪 4F 浪速の間 (西)

開会式

8:55 ~ 9:00

一般演題 (口演) 1 [新規免疫治療1]

9:00 ~ 9:30

座長：田淵 崇文 (東京医科大学外科学第四講座 (東京医科大学茨城医療センター))
阿久津泰典 (千葉大学大学院 医学研究院 先端応用外科)

- 1-1 遺伝子導入樹状細胞を用いた癌ワクチン療法—これまでとこれから—
和歌山県立医科大学 第2外科 北谷 純也
- 1-2 腫瘍環境を標的としたTLR9アゴニスト投与による新しいがん免疫治療法の開発
和歌山県立医科大学 外科学第二講座
(独)医薬基盤研究所 アジュバント開発プロジェクト 北畑 裕司
- 1-3 CXCR-4発現ヌードマウス可移植ヒト胃癌株に対するAMD 3100とCDDPの腫瘍縮小効果
がん・感染症センター都立駒込病院 外科 岩崎 善毅
- 1-4 マウス大腸癌皮下腫瘍モデルに対する抗4-1BB抗体/抗PD-1抗体を用いた癌免疫療法
山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 新藤芳太郎

主題1-1 [癌免疫(化学)療法の臨床評価(評価法、治療成績)[継続]] 9:30 ~ 10:30

座長：山上 裕機 (和歌山県立医科大学 第2外科)
松原 久裕 (千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科)

- S1-1 進行再発癌にたいする免疫療法・温熱療法の有効性 (癌種別、再発形式による検討)
協林会 大阪ガン免疫化学療法センター
大阪がんクリニック 武田 力
- S1-2 肝癌に対するMUC1を標的とした細胞療法
山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 松井 洋人
- S1-3 Immune-Related Response Criteria (ir-RC) による癌免疫療法の治療効果判定
大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学 西塔 拓郎
- S1-4 癌免疫療法臨床応用への評価
岐阜大学 腫瘍外科 長田 真二

S1-5 腫瘍抗原 (TAA) 遺伝子導入iPS細胞由来樹状細胞 (iPSDCs) 癌ワクチン療法の治療戦略
和歌山県立医科大学 第2外科 岩本 博光

S1-6 NY-ESO-1長鎖重複ペプチドを用いたがんワクチン臨床試験
大阪大学大学院 消化器外科学 長瀬 博次

主題1-2「癌免疫(化学)療法の臨床評価(評価法、治療成績)[継続] 10:30～11:30

座長：平田 公一 (札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科)

池口 正英 (鳥取大学医学部 病態制御外科)

S1-7 大腸がんペプチドワクチン第I相試験における効果予測バイオマーカーの探索
山口大学大学院 消化器・腫瘍外科 碓 彰一

S1-8 化学療法不応進行再発大腸癌に対する7種ペプチドワクチンカクテル療法の治療成績
近畿大学 外科 杉浦 史哲

S1-9 有効な治療法のない進行消化器がん患者に対するSVN-2B単独投与の第I相臨床試験最終結果
札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座 里見 露乃

S1-10 食道癌ペプチドワクチン療法におけるCTCのバイオマーカーとしての有用性
帝京大学医学部 外科 飯沼 久恵

S1-11 術前化学放射線療法後の局所進行膀胱癌切除症例における予後予測因子の検討
横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科 三宅謙太郎

S1-12 胃全摘術後の体重減少とS-1補助化学療法継続性
神奈川県立がんセンター 胃食道外科
横浜市立大学 外科治療学 青山 徹

シェラトン都ホテル大阪 4F 大和の間 (西)

施設代表者会議

11:30～12:00

シェラトン都ホテル大阪 4F 浪速の間 (西)

ランチョンセミナー 1

12:00 ~ 12:50

【共催：大鵬薬品工業株式会社】

演 題：大腸がん化学療法新時代 ～強さの中にも優しさを～

座 長：森 正樹 (大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学)

演 者：杉本 直俊 (大阪府立成人病センター 臨床腫瘍科)

特別発言：平田 公一 (札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科)

特別講演1

13:00 ~ 14:00

座 長：岡 正朗 (山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学)

演 者：井上 正康 (IVF Japan & 健康科学研究所)

演 題：活性酸素と生命のスーパーシステム—生物進化から癌と免疫を考える—

特別企画 [Current Status of Cancer Immunotherapy in the World] 14:00 ~ 15:10

座長：小川 健治 (白山通りクリニック)

竹之下誠一 (福島県立医科大学医学部 器官制御外科学講座)

共催：第一三共株式会社/株式会社クレハ

PL-1 A new approach to anti-tumor vaccination by metabolically inactive non-dividing tumor cells

Department of Surgical Research and Transplantology, Medical Research Centre,
Polish Academy of Sciences, Warsaw, Poland Waldemar L.Olszewski

PL-2 Cancer immunotherapy targeting Asian population

Surgery, National University of Singapore, and 1st Dept Surgery,
University of Yamanashi, Japan Koji Kono

PL-3 Current status of cancer immunotherapy in Japan

- Peptide vaccine trial for pancreatic cancer -

Second Department of Surgery, Wakayama Medical University Hiroki Yamaue

一般演題 (口演) 2 [新規免疫療法2]

15:10 ~ 15:40

座長：野口 正典 (久留米大学先端癌治療センター 臨床研究部門)

碓 彰一 (山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科)

O2-1 マウス扁平上皮癌に対する金ナノロッドを用いた光線力学温熱療法

千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科

水藤 広

- 2-2 HER2細胞外ドメインに対する分子標的免疫療法
岡山大学大学院 消化器外科学 石田 道拡
- 2-3 HF10の皮下腫瘍への局所投与における肝転移および腹膜播種への宿主の腫瘍免疫を介した波及治療効果の検討
名古屋大学 消化器外科学 堀田 佳宏
- 2-4 抗TMEM207抗体による胃印環細胞癌進行抑制の試み
岐阜大学 腫瘍外科学 櫻谷 卓司

一般演題（口演）3「癌進展に関わる局所因子」 15:40～16:25

座長：若林 剛（岩手医科大学医学部 外科学講座）

福澤 正洋（大阪府立母子保健総合医療センター）

- 3-1 癌線維化の評価指標と癌進展とのかかわりについて
岐阜大学 腫瘍外科 兼松 昌子
- 3-2 肺転移における骨髓由来抑制細胞の影響と治療的意義
神戸大学 食道胃腸外科 山下 公大
- 3-3 クロマチン再構成因子, ARID1A発現低下による乳癌でのCXCL8 (IL-8) 発現亢進
岐阜大学大学院 医学系研究科 がん先端医療開発 森川あけみ
- 3-4 胃癌におけるHLA-E およびHLA-F発現と臨床的意義
鹿児島大学 消化器・乳腺甲状腺外科学 石神 純也
- 3-5 大腸癌肝転移巣周囲組織における制御性T細胞の肝切除後遠隔成績におよぼす影響
横浜市立大学医学研究科 消化器・腫瘍外科学 中川 和也
- 3-6 胆管癌におけるNKG2Dリガンド発現の意義
群馬大学大学院 病態総合外科 塚越真梨子

一般演題（口演）4「癌進展に関わる全身因子」 16:25～16:55

座長：藤井 秀樹（山梨大学 外科学第一）

小寺 泰弘（名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学）

- 4-1 大腸癌手術における小野寺式指数とGlasgow Prognostic Score (GPS) の意義
東京女子医科大学東医療センター 外科 佐川まさの

- 4-2 消化器癌患者における末梢血MDSC濃度の予後における検討
福島県立医科大学 器官制御外科学 中島 隆宏
- 4-3 乳癌における治療開始前好中球／リンパ球比の予後因子としての意義
北海道大学病院 乳腺外科 中野基一郎
- 4-4 胃癌患者リンパ球に発現する免疫チェックポイント分子と細胞性免疫能低下
鳥取大学 病態制御外科 齊藤 博昭

一般演題（口演）5「臨床試験」 16:55～17:40

座長：大西 秀哉（九州大学大学院 医学研究院 腫瘍制御学分野）
有賀 淳（東京女子医科大学 先端生命医科学研究所）

- 5-1 食道扁平上皮癌に対する放射線併用樹状細胞腫瘍内局注による免疫反応
千葉大学大学院 医学研究院 先端応用外科 阿久津泰典
- 5-2 進行再発大腸癌に対する7種ペプチドワクチン+UFT / LV併用療法による臨床試験
近畿大学 外科 井上 啓介
- 5-3 標準療法不応膵癌に対するTS-1隔日投与方法併用新規ペプチドワクチン療法
和歌山県立医科大学 第2外科 宮澤 基樹
- 5-4 転移を有する去勢抵抗性前立腺がんに対する持続低用量シクロホスファミド併用テーラーメイドがんペプチドワクチン療法の第II相無作為比較試験
久留米大学 先端癌治療研究センター 臨床研究部門 守屋普久子
- 5-5 標準療法不応食道癌に対するHLA-A24またはHLA-A02拘束性マルチエピトープペプチドを用いたカクテルワクチン療法－第I / II相臨床試験－
和歌山県立医科大学 第2外科 勝田 将裕
- 5-6 膵癌ワクチン医師主導治験 (VENUS-PC study) における当施設症例の検討
山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 鈴木 伸明

一般演題（口演）6「細胞療法」 17:40～18:10

座長：武田 力（協林会 大阪ガン免疫化学療法センター）
権 雅憲（関西医科大学 外科）

- 6-1 進行癌313例に対するWT1/MUC-1パルス樹状細胞がんワクチンの有用性の検討
新横浜かとうクリニック 加藤 洋一

- 6-2 全身加温処理の末梢血T細胞免疫応答への影響
 ビオセラクリニック 小林 泰信
- 6-3 個別化免疫細胞療法確立への試み
 九州大学大学院 医学研究院 腫瘍制御学分野 大西 秀哉
- 6-4 進行再発頭頸部癌にたいする免疫療法・温熱療法の有効性 (74例の検討)
 協林会 大阪ガン免疫化学療法センター
 大阪がんクリニック 武田 力

一般演題 (口演) 7 [micro-RNA・予後因子] 18:10 ~ 18:40

座長：掛地 吉弘 (神戸大学大学院 食道胃腸外科)
 福島 亮治 (帝京大学医学部 外科学講座)

- 7-1 胃癌症例におけるDicer1発現と臨床病理学的因子および予後との関連性
 帝京大学医学部 外科 井上 泰介
- 7-2 乳癌患者における末梢血MDSC濃度の予後における検討
 福島県立医科大学 器官制御外科学 松本 佳子
- 7-3 大腸癌血漿エクソソームにおけるmicroRNA-21の発現と臨床的意義
 帝京大学医学部 外科 田村 純子
- 7-4 大腸癌組織におけるmicroRNA-21の発現と臨床的意義
 帝京大学医学部 外科 福島 慶久

シェラトン都ホテル大阪 4F 浪速の間 (東)

全員懇親会

19:00 ~ 21:00

シェラトン都ホテル大阪 4F ロビー (レセプションホール)

一般演題 (ポスター) 1 「BRM・細胞療法」 **15:10 ~ 15:55**

座長：杉山 保幸 (岐阜市民病院 外科)

合地 明 (岡山大学病院 経営戦略支援部)

- P1-1 進行再発卵巣癌および子宮悪性腫瘍にたいする免疫療法・温熱療法の有効性 (229例の検討)
協林会 大阪ガン免疫化学療法センター 中村 華奈
- P1-2 腹腔洗浄細胞診陽性進行膀胱癌に対して根治切除後、術後補助療法としてTS1+WT1ペプチド樹状細胞ワクチン療法を施行した1例
NTT西日本大阪病院 外科 橋本 和彦
- P1-3 担子菌製剤経口摂取による宿主免疫抑制改善への影響検討
小林製薬中央研究所
島根大学 医学部免疫学 石川 悟
- P1-4 酪酸菌のTRAIL放出機構の解析を通じた表在性膀胱癌の膀胱内注入療法についての臨床応用への検討
京都府立医科大学大学院 医学研究科 泌尿器外科学 納谷 佳男
- P1-5 消化器がん患者の末梢血 $\gamma\delta$ T細胞のフェノタイプとその増殖特性
ビオセラクリニック 小林 泰信
- P1-6 Implications of decitabine for the treatment of SDH-deficient GISTs
東京大学大学院 医学系研究科 代謝生理化学教室
日本学術振興会特別研究員DC 三上 貴浩

一般演題 (ポスター) 2 「症例報告1」 **15:55 ~ 16:45**

座長：吉村 清 (山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学)

長田 真二 (岐阜大学 肝胆膵集学的治療講座)

- P2-1 非常に稀な類上皮細胞性炎症性筋線維芽肉腫に対して、Crizotinibが有効であった1例
大阪市立総合医療センター 消化器外科 後藤 航
- P2-2 当院における治療中の患者の話題に関する検討
早稲田大学大学院 人間科学研究科
ビオセラクリニック 小川 祐子

- P2-3 超高齢者に発症した乳腺原発悪性リンパ腫の1例
大阪医科大学 一般・乳腺・内分泌外科 碓 絢菜
- P2-4 当院で手術を行った再発後腹膜脂肪肉腫4例の検討
鳥取大学 病態制御外科 下田 竜吾
- P2-5 腎細胞癌に対するソラフェニブ投与により、関節リウマチの悪化をきたした1例
京都府立医科大学 泌尿器科 山田 恭弘
- P2-6 イマチニブ耐性胃GISTに対し、スニチニブ投与により良好な病勢コントロールが得られている1例
岩手医科大学 外科学講座 千葉 丈広
- P2-7 当科における肝細胞癌に対する肝切除周術期輸血について
大阪医科大学 一般消化器外科 米田 浩二

一般演題（ポスター）3「癌進展に関わる因子1」 16：45～17：15

座長：飯沼 久恵（帝京大学医学部 外科）

三森 功士（九州大学病院 別府病院 外科）

- P3-1 胃癌におけるリンパ節内浸潤好中球とリンパ管新生、微小転移との関連
大阪市立大学大学院 腫瘍外科 徳本 真央
- P3-2 胃癌所属リンパ節内の腫瘍関連マクロファージはリンパ節転移形成前に増加する
大阪市立大学大学院 腫瘍外科 呉 幸枝
- P3-3 生体侵襲からみた大腸癌予後予測因子の検討
東京医科大学茨城医療センター 消化器外科 島崎 二郎
- P3-4 食道癌手術における術前栄養スクリーニングの現状と評価
東京女子医科大学 東医療センター 外科 島川 武

一般演題（ポスター）4「癌進展に関わる因子2」 17：15～17：50

座長：吉野 茂文（山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学）

澤田 鉄二（大阪掖済会病院 外科）

- P4-1 胃癌所属リンパ節内免疫細胞分画の転移による変化
大阪市立大学大学院 腫瘍外科 田中 浩明

- P4-2 乳癌局所再発症例と遠隔転移症例のIndoleamine 2,3-dioxygenaseの発現について
日本大学 医学部 外科学系 乳腺内分泌外科分野 櫻井 健一
- P4-3 The effect of tissue fluid/lymph on tumor cell proliferation in humans
Dept. of Surgical Research&Transplantation, Medical Research Center,
Polish Academy of Sciences, Warsaw, Poland Marzanna Zaleska
- P4-4 StageIV大腸癌における化学療法の予後予測因子としての顆粒球・リンパ球比の意義
埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科 小野澤寿志
- P4-5 StageIV胃癌における予後予測因子としての顆粒球・リンパ球比の検討
埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科 鈴木 興秀